

CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

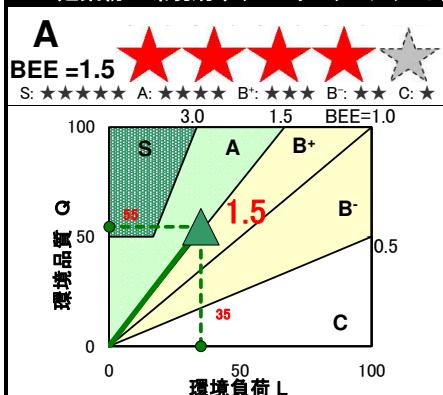
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)北浜タワーPJ 新築工事	
建設地	中央区今橋1丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主		
設計者		
敷地面積	1,236.61	m ²
建築面積	666.21	m ²
延床面積	15,781.60	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上31階
完了年(予定)	2028年2月	

1-2 外観

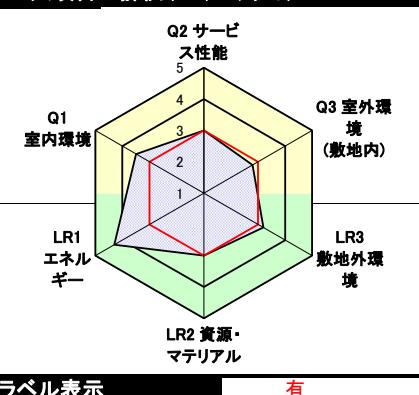
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

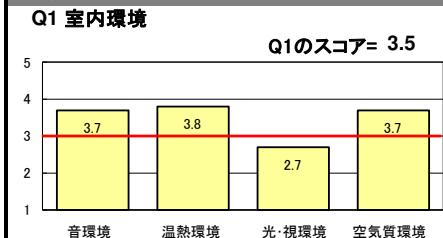


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0



Q3 室外環境 (敷地内)

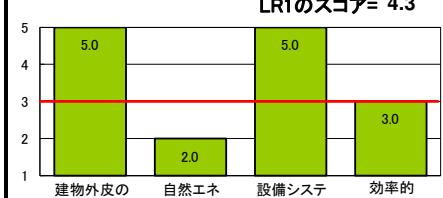
Q3のスコア= 2.8



LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3



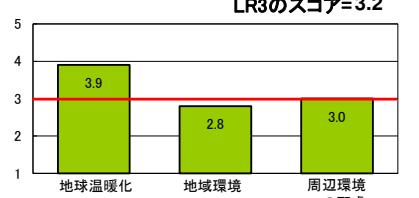
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項

総合

ZEH-M Orientedを取得し、省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。

その他

特になし

Q1 室内環境

外皮性能を断熱等性能等級5を満たす性能とすることで温熱環境を向上させた。

Q2 サービス性能

住戸の階高にゆとりをもたせ、快適さを得られるように配慮した。

Q3 室外環境 (敷地内)

中高木を多く植栽し敷地内の緑化に努め、温熱環境の向上に努めることで、アメニティへの配慮を行っている。

LR1 エネルギー

LowEガラスや適切な厚みの外壁断熱などを採用することにより外皮性能を断熱等性能等級5を満たす性能にし、建物外皮の熱負荷抑制を図った。また、LED照明や高効率給湯器の採用により設備システムの効率化を図った。

LR2 資源・マテリアル

オゾン破壊係数や地球温暖化係数の小さい発泡剤を使用する断熱材を採用した。

LR3 敷地外環境

躯体の長寿命化や設備の省エネ化によりライフサイクルCO₂排出率を抑制し、地球温暖化へ配慮した。

建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能	評価点
(1) CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3 / 1 / / 地球温暖化への配慮	3.9
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率を参考値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

環境性能	評価点
(2) みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	4.0
LR3 / 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	中高木を多く植栽し敷地内の緑化に努め、温熱環境の向上に努めることで、アメニティへの配慮を行っている。

環境性能	評価点
(3) 建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1 / 1 / / 建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	外皮性能として、日本住宅性能表示5-1断熱等性能等級等級5を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。

環境性能	評価点
(4) エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1 / 3 / / 設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、また高効率給湯器やLED照明など設備システムの効率化を図り、省エネルギーに配慮した建物としている。

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能等級4を超える (相当)	-
建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
一次エネルギー消費量	0.76
	0.76
	非住宅部分[BEI][BEIm]
	-